

大分市地域まちづくりビジョン

坂ノ市地域ビジョン会議 通信

第2号

発行：坂ノ市地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営等々諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第2回坂ノ市地域ビジョン会議



■平成 29 年 8 月 4 日（金）13：30～15：30

■坂ノ市市民センター 大会議室

開会

一、議事

1. これからのまちづくりについて

・都市計画マスタープラン

・立地適正化計画

2. グループワーク

まちづくりビジョンのコンセプト（テーマ）を見出す

二、その他

閉会

これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

1. 坂ノ市地区における都市計画について（都市計画マスタープランの概要）

本地区は、古くから地域の拠点として機能しており、歴史や文化も独特なものを今に伝えています。

JR 坂ノ市駅周辺を、地区拠点として再生させることが求められており、より高い文化機能を備え、快適で自然のうるおいに満ちたまちづくりが必要です。

このようなことから本地区は、「快適でうるおいのある生活文化拠点の形成」をまちづくりの目標とします。



2. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和 39 年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少及び人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとっては、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第 81 条に基づき「立地適正化計画」について、平成 30 年度末の公表を目指して作成を進めています。

グループワークの流れ

【ステップ1】 重みづけ



【ステップ2】 ブレインストーミング



【ステップ3】 親和図作成



まちづくりのコンセプト (理念)成果発表



【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様には、2班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、ふだん気になることや問題に思っている重点項目に一人5枚のシールを貼っていきました。

《1班:チームさっしー》 班長:指原委員より発表

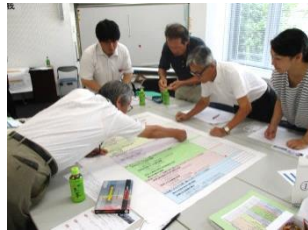
1班の特徴は子どもの子育てや高齢者福祉の充実のところに一番ポイントが多いようです。少子高齢化などを考えたときに、子育てや高齢者福祉の環境整備を皆さんが坂ノ市のビジョンとして頭の中に描いているのかなと思います。それから、個性豊かな文化・芸術の創造と発信のポイントが多いようです。地域の伝統的な行事が多く残っていて、それらを継承したいという考えが表れていると思います。三つ目は、農業、林業の振興の項目です。坂ノ市地区は農業地域だと思っていて、農業が高齢者の生きがいにも繋がっているのので、地域の特性を生かした産業構造も必要だと考える方が多いのかと思います。それから、快適な都市構造の形成と機能の充実もポイントが多いですが、私も元気な間は運転できますが高齢になった時に交通網の整備が今よりも必要になると思います。あとは、ポイントは少ないけれども、それぞれ貼られた方の意見を聞きながら、これからのことを考えていきたいいなと思います。

【ポイントを多く入れた項目】

- 子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者(児)福祉の充実・・・(5)
- 個性豊かな文化・芸術の創造と発信・・・(3)
- 農業の振興、林業の振興、水産業の振興・・・(3)
- 計画的市街地の形成、交通体系の確立・・・(3)

1班 チームさっしー

項目	ポイント数
●子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者(児)福祉の充実	5
●個性豊かな文化・芸術の創造と発信	3
●農業の振興、林業の振興、水産業の振興	3
●計画的市街地の形成、交通体系の確立	3



《2班:希望にあふれる2班》 班長:油布委員より発表

我々は「希望にあふれる2班」という班名でいきたいと思っています。2班の傾向としてポイントの多い項目は、まず「安全・安心を身近に実感できるまちづくり」の防災危機管理体制の確立と消防救急体制の充実が、上位2つで上がっています。他は、男女共同参画社会の実現、生きる力をはぐくむ学校教育の充実、子どもたちの学びを支える教育環境の充実などが、多くポイントがある項目です。あとはまばらに、1つ、2つポイントがある状況です。

【ポイントの多く入った項目】

- 防災・危機管理体制の確立・・・(5)
- 消防・救急体制の充実・・・(4)
- 地域コミュニティの活性化・・・(3)
- 生きる力をはぐくむ学校教育の充実・・・(3)
- 子どもたちの学びを支える教育環境の充実・・・(3)

希望にあふれる(2班)

項目	ポイント数
●防災・危機管理体制の確立	5
●消防・救急体制の充実	4
●地域コミュニティの活性化	3
●生きる力をはぐくむ学校教育の充実	3
●子どもたちの学びを支える教育環境の充実	3



【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、親和図に共通点を施策単位でまとめ、コンセプトを考えました。

《1班:チームさしー》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「高齢者にやさしいまち 坂ノ市桃源郷をめざし」・・・(5)
 - ・健康長寿(寿命)・高齢者のふれあい館、広場をつくる・世代を超えて様々な交流が気軽にできる場所を！・特性を生かした産業 高齢者の意欲を持って野菜作りができる環境作り・高齢者福祉対策を行政や自治区が考えるのではなく高齢者自らが考える環境を整える
- 教育・文化 「豊かな心と生きぬく力が育つ街」・・・(8)
 - ・子育て支援の充実とわかりやすさ・大学と地域の交流・文化、芸術の創造 地域に伝わる伝統芸能の保存につながるような施策・小佐井校区にスポーツができる大きな公園を！・坂ノ市公民館の図書室の充実を！・子育て支援 若い人が子どもを産みやすい支援 医療や教育費の無料化、保育園の無料化 他
- 防災 「おとしより・子どもにやさしい安全安心のまち坂ノ市」・・・(6)
 - ・防災意識の強化のための参加しやすい講習や、AEDの設置の明確化・高齢者を助けるネットワーク・防災への意識改革・流木被害を見るたびに山林の重要さを認識する・ため池の防災・個人の防災意識の強化のための取り組み
- 産業 「まもろう、攻めよう 坂ノ市の農業」・・・(4)
 - ・農業後継者がいない農地が放棄される・農業、林業の企業化を図る・働く場所を増やす・人口減少、若者の流出は農業振興地域を指定していることが原因である・働く場所をふやす
- 都市 「いつでも、どこでも気軽に行き交う自慢の道路網」・・・(6)
 - ・歩道のバリアフリー化・古代の遺跡を活かすまちづくり・庄の原、佐野バイパスの延伸・通学路の安全の確保を含めた交通整備・交通網の整備 高齢者が気軽に買い物や病院へ通学路のような交通整備・消防車、救急車が入れない(丹生、細丸)
- 環境 「自然、河川を 水をきれいに」・・・(3)
 - ・ため池の生物多様性・佐野清掃センターの活用・蛭がとぶ自然河川を取り戻す！



《2班:希望にあふれる2班》 施策毎のポストイットの内容

- 福祉 「人と人がつながるコミュニティの確立」・・・(10)
 - ・コミュニティができる場所(空間)がほしい・住民、企業との連帯感・高齢者と子どもたちの交流の場 イベントなど・近隣のつながり 連帯感 見守り体制(子ども、高齢者)・健康づくりは皆が望んでいることである。しかし検診率が低い。何とか上げる方法はないだろうか 他
- 教育・文化 「豊かな子どもが育つ坂ノ市」・・・(7)
 - ・保育園の充実・小学校同士の連携・子ども指導体制の充実・図書館、プール、児童館、育成クラブ、子どもルーム、子育てサロン等の拡充 他
- 防災 「安心安全で住みよい防災まちづくり」・・・(6)
 - ・防災研修や訓練、近所のグループ作り・坂ノ市に救急車・高齢者と免許対応(日常生活)・行政が避難指示を出しても、全部全世帯に行き渡るのは困難であるので全世帯に防災無線を設置したらどうか 他
- 産業 「企業と地域がつながるコミュニティの確立」・・・(10)
 - ・坂ノ市には大手企業がたくさんある・小学校に社会見学を・丹生米の活用・ゴミ処理場 佐野植物園もっと利用したい・農作物を活用した6次産業を・外から人を集客したい・地元の人を産業を支える・企業に地域貢献をしてほしい 他
- 都市 「みんながどう萬弘寺」・・・(13)
 - ・萬弘寺の広場活用・坂ノ市全体の下水道整備・駅前の店舗充実・電車の本数・駅にエレベーターがほしい・駅に駐車場がほしい・情報交換の場所、機会づくり・自転車や車の通行 歩道の確保 交通面の整備 小佐井小から東高の土地活用・買い物、病院 行く× 来る○ 他
- 環境 「山がキレイ 水がキレイ」・・・(5)
 - ・尾田川で花見をしたい・山間部に不法投棄が多い・田んぼや畑が雑草だらけ・空き家が多くなってきた・田舎の方は交通手段が乏しい。アウトレットの様な大型商業施設を誘致すれば交通体系も充実する



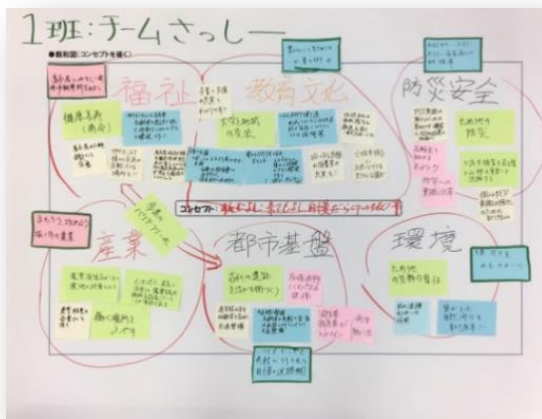
まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班長がそれぞれの意見を取りまとめたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

《1班:チームさっしー》

コンセプト: すんでよし、来てもよし、自慢だらけの坂ノ市

1班から発表させていただきます。コンセプトは「すんでよし、来てもよし、自慢だらけの坂ノ市」になりました。いろいろと話をしながら、これからの「まちづくり」について坂ノ市がどうしたらいいか?ということを考えました。教育文化、福祉とか、いろいろな分野にきめ細やかで具体的な内容がたくさん出たので、それを一つにまとめると、最終的には簡単な言葉でコンセプトをまとめることができましたので、このようなコンセプトになるのかなと思います。



《2班:希望にあふれる2班》

コンセプト: 心と心がつながる快適な坂ノ市

我々「希望にあふれる2班」のコンセプトは「心と心がつながる快適な坂ノ市」です。簡単に項目ごとのキャッチフレーズを言いますと、福祉の項目だと、「人と人がつながるコミュニティの確立」。教育文化の項目だと、「豊かな子どもが育つ坂ノ市」。防災安全の項目だと「安心安全で住みよい防災まちづくり」。環境の項目だと「山がキレイ、水がキレイ」。都市基盤の項目だと、「皆が集う萬弘寺」。やはり、坂ノ市校区で萬弘寺は非常に大きな施設になっていると思います。最後に産業の項目ですが、私は企業代表として出席しているのですが、企業と地域が繋がっていないという非常に心苦しい意見もありました。私の上司などの上の人間は繋がってはいるんですが、実際下の社員と住民の多くの皆様との繋がりがなくて、そういったことから「企業と地域が繋がるコミュニティの確立」というキャッチフレーズをつけました。そして、これらを総括した結果、「心と心がつながる快適な坂ノ市」になりました。

